

むさしのヒューマン・ネットワークセンターだより

Vol.54 2016年8月



Contents

トピックス(センターの移転と愛称・シンボルマーク募集について)	①
男女共同参画フォーラム報告	②~⑤
講座報告	⑥~⑦
これからの催し物、センター利用案内等	⑧

TOPICS

センターの移転と愛称・シンボルマーク募集について

昭和60年から始まった「婦人問題懇談会」を経て、平成6年に設置した「むさしのヒューマン・プラザ」（仮称）基本構想検討委員会。この報告書でまとめられながらも多くの女性団体から要望のあった活動拠点施設は当時実現しませんでした。

その後も市民による地道な活動が続けられ、当センターは平成10年に男女共同参画社会の実現に向けた具体的な施策を推進していくための拠点施設として開設に至りました。現在の名称、「むさしのヒューマン・ネットワークセンター」は先の「ヒューマン・プラザ」にちなんで名づけられました。

開設後は、むさしのヒューマン・ネットワークセンター運営協議会（現むさしの男女共同参画市民協議会）に管理運営を委託し、平成24年4月からは市の直営のセンターとして活動してきました。

これまで多くの志ある市民や団体の方々のお力を借りながら学習・研究ができ、各種情報の提供や市民の交流・活動への支援を行う重要な役割を

担い、性に対して公平で誰もが自分らしく生きることができるまちづくりに寄与することを目的として様々な活動を継続してきました。

センターの建物は武蔵境市政センター2階にあってアクセシブルな改善の必要もあり、移転を検討してきましたが、このたび平成28年10月より市民会館1階に移転することになりました。名称も「武蔵野市立男女共同参画推進センター」として新たなスタートをきります。

かねてから課題であった女性総合相談窓口も来年1月より開設予定です。

さらに多くの市民の方々とともにあるセンターをめざしてまいります。

これを機に、8月15日～9月14日の1か月間、新センターの愛称とシンボルマークを募集します。市内在住、在勤、在学の方どなたでも何件でも応募可能です。子どもさんの応募も歓迎です。武蔵野市の男女共同参画推進をイメージした作品をお待ちしています。

詳しくは8月15日号の市報及びセンターのHPをご覧ください。お問い合わせはセンターまで。

電話/fax : 0422-37-3410 mail:mhnc@tokyo.email.jp



▲現行HPより



平成28年度男女共同参画週間キャッチフレーズ
「意識をカイカク。男女でサンカク。社会をヘンカク。」

今年のテーマは「育てあうまち 武蔵野」 ～子どもから始まる男女共同参画～

毎年6月23日から29日までの1週間は、内閣府が定める「男女共同参画週間」です。これに合わせ、全国各地で様々なイベントが開催されています。武蔵野市は今年度も、市民や団体でつくる実行委員会を主体に「男女共同参画フォーラム」を開催しました。それぞれのイベントを企画した実行委員及び団体からの報告です。

記念講演会 あなたの近くにいる困っている子どもたち ～子どもの貧困を考える～



○日時 2016年6月21日(火) 18:30～20:30

○会場 武蔵野プレイス フォーラム

○講師 阿部 彩さん(首都大学東京教授 著書『子どもの貧困ー日本の不平等を考える』)

阿部彩さんが、貧困問題に興味をもったきっかけは、1990年代に新宿駅西口の段ボール村が一晩で撤去され、昨日まであった暮らしがどこにいったのかを考える人もいないのだという思いをいただいたことです。諸外国の統計局のホームページには貧困率が表示されていますが、日本ではその数値はありませんでした。どれくらいの方が生活に困窮しているのかを調べたいと思い、研究を始めたと言われました。

子どもの貧困率は16.3%、6人に1人は貧困状態です。貧困は2世代目に入り、社会階層が生まれてきています。また、女性のひとり親世帯の半分は貧困です。

子ども達の状況を親の所得別に集計すると、学力や体力、健康や努力する力などあらゆる場面で差が出ています。さらに子どもの自己肯定感にも大きな影響がでてきます。「自分が価値のある人間だと思う」との問いに、そう思わないと答える中学2年生は貧困層では25%もいます。

貧困は多くの要素が複合的に絡み合っています。住居が劣悪、満足な食事ができない、親の長時間就業で夜に子どもが一人である、親の精神状況も不安定、それらが全て貧困の連鎖としてつながり、雪ダルマ式に様々な問題をはらんでいます。

貧困率とは再分配後の比率で、最終的に使えるお金で計算されています。再分配後は貧困率が下がるのが当たり前ですが、日本はそうはなっていません。

いま、市民によって様々な取り組みが模索されています。居場所づくりや子ども食堂、生活相談や貸付事業、フードバンクや無料学習塾などがあります。

市民には、子どもの応援団になってほしいと思います。子どもの貧困に関心をもっている方はまだまだマイノリティーですが、認識は広めていかななくてはけません。重要なのはサポーターを増やすことだと思います。(担当:大島)

参加者の声 ▶貧困率の高さは数字となって私たちに提示された。阿部さんがデータを読み解き、その課題を今回示していただいた。私たちはそれを受けとめ、何をすべきかを考え、行動に移したい。

レクチャーコンサート クラシック音楽とジェンダー ～女性作曲家に光を当てる～

○日時 2016年6月18日(土) 14:00～17:00

○会場 武蔵野スイングホール

○講師 小林 緑さん(国立音楽大学名誉教授) ○演奏 ソプラノ:吉川 真澄さん ピアノ:河野 紘子さん



講師の小林緑さんとソプラノの吉川真澄さん、ピアノの河野紘子さんの3人の方の出演で、5曲のピアノの小品以外はすべて歌曲というプレーンなプログラムでした。

日本歌曲が多かったので、クラシックにあまりなじみがない方にも楽しめたようでした。小林緑さんのユーモアある解説をまじえ、生演奏を十分に堪能しました。演奏された曲はどれもすばらしく、女性の力を感じました。特に最後に演奏された吉田隆子が与謝野晶子の詩に作曲した「君死にたもうことなかれ」は衝

撃的でした。感想でも、何人かの方が思わず涙が出たと書かれていました。このような企画で男女共同参画に関心を持つ方々が少しでも広がることを願っております。(担当:高坂)

参加者の声 ▶ジェンダーを強く伝えられ、楽しかったです。▶父が戦死しているので、「君死にたもうことなかれ」に思わず涙がでました。▶女性作曲家の作品がウィットに富んで豊かなことに感動した。▶託児つき、無料のコンサートはなかなか無いので、楽しめました。リフレッシュできました。日本歌曲がすばらしかった。

講演とワークショップ

オトコの地域活躍inむさしの ～ワーク・ライフ・ソーシャルで人生を楽しもう～



○日時 2016年6月19日(日) 10:00~12:00

○会場 武蔵野プレイス フォーラム

○講師 川島 高之さん(コチカラ・ニッポン代表 ファザーリング・ジャパン理事)

第1部では、川島高之さんから「ワーク・ライフ・ソーシャルで人生を楽しもう」と題して、地域活動=イキメンのススメに関するご講演をいただきました。第2部では、参加者のみなさんがグループに分かれ、「男性にできる家庭や地域での活動とは」をテーマにディスカッションを行いました。ディスカッションではどのグループも会話が途切れることなく意見が交わされ、会が終わってから参加者の方々がお話を続けられていたことが印象的でした。

(担当:奥野)

参加者の声 ▶会社員だけでなく、色々な立場の人と同じ地区に住むという共通点のみで話し合うことができ、脳が活性化した感じがしました。
▶地域活動への参加は、自分の仕事にも活かすことができるということを知り、将来、積極的に参加していきたいと思いました。▶18歳から70歳代?までの幅広い参加は意外でした。やはり、まず、ポイントは若いころからの男性教育!!!

LGBT職場アンケート報告会

データを職場改善のチカラにin東京2016

○日時 2016年6月19日(日) 14:00~17:00

○会場 武蔵野プレイス フォーラム

○司会 村木 真紀さん(虹色ダイバーシティ代表)

○データ解説 平森 大規さん(ワシントン大学大学院 国際基督教大学ジェンダー研究センター)

○トークゲスト 石田 仁さん(日工組社会安全研究財団研究員 成蹊大学非常勤講師)

永野 靖さん(永野・山下法律事務所 弁護士)



左から、村木真紀さん 平森大規さん
石田仁さん 永野靖さん

2016年2月~3月実施のウェブ調査に寄せられた2,300名近くの回答をもとに、日本の職場環境においてLGBTやその支援者がどのように働いているのかについて、村木真紀さん、平森大規さんがお伝えしました。トークゲストにお招きした石田仁さんからは研究者の視点にたった解説を、永野靖さんからは実際にLGBT当事者の支援にあたっている弁護士の視点から熱のこもったメッセージを頂きました。会場には高校生の方もいらしていたようで、LGBTをめぐる社会状況への関心の広まりを感じられる機会となりました。(担当:加藤)

参加者の声 ▶LGBTに関する問題は職場だけでなく、学校にもあると思いますが、普段意識していないと気づけないことも多くあると痛感しました。差別的な発言に関しても悪気なく傷つけてしまうこともあると思ったので、気をつけていきたいです。▶データの分析手法、活用方法など、今後使えるものばかりでした。やはり、より多くの人々を説得できるのはデータです。正しく使えるようになりたいと思います。

講演とワークショップ

あなたの「からだ」の声、聞こえていますか

○日時 2016年6月25日(土) 10:00~12:00

○会場 武蔵野商工会館 4階 ゼロワンホール

○講師 吉留 桂さん(ジョイセフ人財育成グループ シニアプログラム・オフィサー)

生涯にわたり、自分らしい人生を送るために、どういう力を自分もっているのか、女性の命と健康を守るため、アジアの国々の政府やNGOと連携して活動を行っている「ジョイセフ」の吉留桂さんから学びました。

女性のエンパワメントに向けて、東南アジアのミャンマーではHIVの母子感染の連鎖を止めるカウンセリ

ングの強化、西アフリカのガーナでは女子中学生の月経教育を行っています。

ジョイセフでは、自分を大切にする、人生プランを立てることが出来るなど、自分で行動を起こせる女性こそ女子力が高い、というキャンペーンを展開しています。世界の状況から日本の現状まで再考できる講座でした。(担当:大島)



講演とワークショップ

ネパール女性の活躍に見る震災復興と自立への道



○日時 2016年6月20日(月) 14:00~16:00

○会場 武蔵野プレイス スペースC

○講師 小嶋 美代子さん(パシイワ会員)

昨年4月の大地震から半年、ネパールでは懸案だった新憲法が制定されました。高い経済成長が期待されるこの国ですが、カースト制、女性の低い社会的地位、障害者保護、貧困などの問題は山積しています。

今回はたくさんの写真を通した5人の女性のストーリーから、女性が貧困の連鎖から抜け出すことの難しさを、参加者の皆さんと共有できたと感じています。

障害のあるアンジャナK.C.さんが、日本で学んだことを生かし、自分のみならず、他の女性にも自立を促す姿は感動的でした。そこからネパールでは読み書き算盤を学ぶこと自体が貴重であること、教育の大切さを知る私たちだからこそ、日本にできることがあると思いました。

(担当:小嶋)

講演とワークショップ

やりたいことを実現させるためのコミュニケーション術★

～秘訣は愛と想像力～



○日時 2016年6月24日(金) 10:30~12:30

○会場 武蔵野スイングホール10階 スカイルーム

○講師 竹内 千寿恵さん(MYstyle@代表理事)

コミュニティビジネスの最前線で活躍する竹内講師の講座とワークショップに20代の学生から60代の地域活動のベテランまで幅広い層が参加しました。ゆるやかなBGMが流れる中、まず自分の困ったことを書き出し、グループ内で共有。自分のニーズをまず自分自身が理解して誤解のないよう伝える発注力とやれること、やれないことを明確に相手に伝え合意形成する受注力の解説を聞きながら、参加者が自分の中にフィードバックしていくという内容で、たくさんの気づきがありました。時間が短く、最後に発言できる時間がとれなかったのが残念でした。

(担当:市川)

参加者の声 ▶発注する側、受注する側、ともに相手の気持ちを理解しようとする姿勢が第一。そうしたうえでお互いの食い違いをなくすことで良い方向に進んでいくことがわかりました。▶音楽がすごくよかったです!なごんで気分よくスラスラかけました。「信頼」を形成できるようがんばっていきたい!▶短時間で問題をブレイクダウンして見せる手法に感心しました。▶話し合い、表現しあう時間がもう少しほしいと思いました。▶今後はより具体的なスキルの研修を受けたいと思います。

講演会

親の知らない中高生のリアル JKビジネスの危険

○日時 2016年6月24日(金) 18:30~20:30

○会場 武蔵野プレイス フォーラム

○講師 仁藤 夢乃さん(女子高生サポートセンターColabo代表)



講演者の仁藤夢乃さんは高校生の時、母親や周囲の人との関係をうまく築けない中、居場所がなく夜のまちをさまよっていました。助けて欲しかったけれど、手を差し伸べてくれる大人はいませんでした。

「JKビジネス」の女子高生は「売る方の少女が補導されるのに、買う方のおじさんたちに補導は無いの?」と問うてきます。共に食卓を囲む経験や、日常を積み重ねることで少女たちは互いを知り、信頼を結んでいくのです。仁藤さんは「衣食住+関係性」を今日も少

女たちに提供し、伴走者として共に歩んでいます。

(担当:大島)

参加者の声 ▶男性や若い方の参加があって良かった。体験者の言葉には説得力がある。▶本当に相手の立場で考える事がどうということかを学ばせていただきました。▶支援よりも「役目がある」ということ、子どもたちは「必要とされている」という感覚にひかれて動くという二点が心に残った。▶仁藤さんの「綱引きをしている」という言葉にリアルな力を感じます。

上映会&トーク

ネファリアス ～売られる少女たちの叫び～

○日時 2016年6月25日(土) 14:00~16:30

○会場 武蔵野プレイス フォーラム

○講師 山岡 万里子さん(ノット・フォー・セール・ジャパン代表)



今 世界には何千万人もの奴隷がいて、多くの女性が性風俗店等で強制的に働かされています。一見自分で選んで売春しているように見える女性たちが、どんな事情でどう絡め取られているのか。この映画はヨーロッパ・東南アジア・北米で取材し、被害者・加害者・専門家の証言に再現映像を織り交ぜて伝えています。人身取引問題の概要と日本の現状の報告で理解を深め、鑑賞後のグループトークで参加者同士さまざまな思いや考えを共有できました。(担当:山岡)

参加者の声

▶ 阿部さんと仁藤さんの話とも全てつながっています。婦人保護施設で働いているので、日本でも同じことがおきていることを感じます。▶ 男性にもっと見てほしい。育児で何かを集中してする時間が全くもてないので、今日はじっくり鑑賞できてありがたかった。売春が成長産業だということが驚きでした。▶ 理由を貧困ということだけで片付けてはいけない。モラルや精神の問題なのである。この問題を終わらせるために自分が何をできるのか考えたい。



公開講座

LGBTの子どもの過ごしやすい地域について考える

○日時 2016年6月25日(土) 18:00~20:00

○会場 武蔵野プレイス フォーラム

○講師 NPO法人 ReBit

本 講演では、前半はLGBTについて知るための講義を行いました。LGBTの用語の解説や、地域の中で特にLGBTの子ども/若者が困りやすいことを項目ごとに知り、また武蔵野市に住む講師がひとりのLGBTとしての経験をお話する「ライフヒストリー」を通じ、LGBTを体感的に知りました。後半は今日から一

人一人ができることについて、グループワークと全体でのシェアを行いました。保護者、教員、地域職員、市民など様々な立場から今日からできることについてのシェアをいただき、武蔵野市がLGBTの子どもも過ごしやすい地域に一歩つながったように感じました。(担当:薬師)

パネル展示

○武蔵野プレイス ギャラリー 6月18日(土)~27日(月)

○市役所 1階ロビー 6月28日(火)~7月4日(月)

い のち リスペクト。ホワイトリボン・キャンペーンの「多様な性」パネルや、武蔵野市内外で活躍する、介護保険むさしの市民の会、シルバースプーン、作ろう!みんなのジモトWa-shoiパートナーシップ、日本女子大学教育文化振興桜楓会武蔵野市部、NOT FOR SALE JAPAN、パシイワむさしのグループ、ひまわりもコスモスも、むさしの男女共同参画市民協議会、武蔵野ブラショフ女性問題研究会、無二の会、計10団体に参加いただきました。それぞれの団体の活動の様子が詳しく紹介されたパネルは、観る人に

元気を与えてくれる展示でした。



◎フォーラムを終えて

本年フォーラムは男女共同参画の領域を広げ、枠を超えた交流をするために様々な取り組みを行いました。障がい者、性的少数者、貧困の罠に陥る子ども、性産業から虎視眈々と狙われる若い女性などが社会で遭遇する困難に今回初めて気づかされることも多く、今後への大きな課題を与えられました。

実行委員の皆様をはじめ各イベントを充実したものにして下さった多くの方々のご協力、そして参加いただいた方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

男女共同参画フォーラム2016実行委員長 三上かおり

今、大震災が起こったら…
女性の視点で考えてみる 避難所生活とそれから



○日時 2016年3月25日(金) 14:00~16:00

○会場 武蔵野市役所 西棟8階 811会議室

○講師 清原 佳子さん(ひょうご震災記念21世紀研究機構参与 神戸学院大学現代社会学部教授)

今年(2016年)は阪神・淡路大震災から20年、そして東日本大震災から5年目にあたるところから、当市でも大震災が起こった時の心構えやヒントを得るため、男女共同参画担当と防災課の共催で講演会を開催しました。阪神・淡路大震災当時、兵庫県立女性センター所長でありその後生活復興局長等災害対応・復興に深く関わってこられた清原桂子さんをお招きして多くの体験にもとづいたお話をいただきました。

阪神・淡路大震災の事例を踏まえて作成された防災学習のクロスロードからスタート。

「非難所にいる2,000人に対して1,000人分しかない食料をどうするか?」神戸では行政の回答を待たず「子ども、高齢者、病気の人から配ったらいいやん」というおばちゃん(おばあちゃん)の意見を取り入れた避難所もあり、随所で日頃より地域のネットワークにいるおばちゃんパワーがいざという時の判断に役立ったそうです。家屋に埋まった人の救済も近

所の方々によることが多かったと普段からの近所づきあいの大切さを語られました。

阪神・淡路大震災と東日本大震災では関西と東北の地域性の違いもあっ

て課題への対応も随分違いが大きかったそうですが、マニュアルづくりよりも現場では今できる人ができることを行う臨機応変さが求められたと話されました。

女子トイレ、授乳や着替え場所の不足、男女の役割など課題の多かった避難所の運営についても女性の意見が反映されるよう普段から女性がものを言える環境作りが大切と強調されました。

そして避難所生活から復興へ向かう時には一人一人が復興の担い手になるような仕組みづくりが大切と阪神・淡路大震災後の取り組みについて説明されました。

最後に日頃から防災や減災に向けて備えることと震災に直面したらまずは自分自身の命を守ることが大切と締めくくられました。

参加者には地域防災の会、自主防衛組織、防災推進員、地域消防団、市の初動要員等防災に関わる市民や職員多数参加しました。年代

層も幅広く、男性の参加も多く、経験にもとづいた具体的事例が大変役に立つというアンケートがたくさん寄せられました。

参加者の声

▶自主防災の重要性をつくづく感じました。がんばっていきます。(70代女性)

▶防災についてはやはり近隣の付き合いがポイントだと思います。(60代男性) ▶おばちゃんパワーやネットワークを作っていけるようになりたいと思いました。(50代女性)

子どものネットトラブル

~SNS社会を賢く生き抜くために~

○日時 2016年5月29日(日) 10:00~12:00

○会場 武蔵野スイングホール10階 スカイルーム

○講師 渡辺 真由子さん(メディアジャーナリスト)

進化するSNS社会で、大人は今、子どもに何を伝えたいのか~メディアジャーナリストの渡辺真由子さんをお迎えしたこの講座は、40代~50代を中心とする保護者や教育関係者、現役の高校生の方など多くのご参加を頂きました。

『大人のメディア・リテラシー』『リベンジポルノ』等の著書のある渡辺さんの講義は、Twitterの仕組み説明から始まり、SNSリテラシーとは何かを懇切丁寧に解説の上、3つの大きなリスクについて触れていただきました。その上で「被害者は悪くない」「文化やコミュニケーションの質が(自分たちの世代のそれとは)変化している」「誰にでもあり得ること」「相手の気持ちを考える想像力が大切」というお考えを、ご自身の豊富な取材経験・事例のお話をまじえ、説得力ある形で示されました。参加者同士の意見交換も活



慶應義塾大学SFC研究所上席所員)

発なものになり、最後のQAでも、子ども間のSNSトラブルへの大人の介入の仕方、など具体的な質問が出て、この問題への皆さんの日ごろの関心の高さ、真剣さがうかがえました。「お話が具体的でとても分かり易かった」「参加してよかった」という多くの感想を頂きました。

参加者の声

▶大人でもネットとの付き合い方が難しいのに子どもにはどう教えたいのかという思いで申し込みました。普段からの大人との信頼関係が大切だと感じました。(40代)▶自分の友達や自分が軽い気持ちでメッセージをスルーしたり写真を載せたりすることが、いじめへの階段を登っていることに驚きました。(10代)▶子どもの思い、被害者の気持ちをよく知り、考えるいい機会になりました。(40代)

デートDV出前講座

その恋本当に大丈夫？ ～身近な問題としてデートDVを考える

○日時 2016年6月6日(月) 16:40~18:10

○会場 成蹊大学 3号館 303教室

○講師 西山 さつきさん(NPO法人レジリエンス副代表)

今年度で3度目のデートDV講座を、「NPO法人レジリエンス」の西山さつきさんを講師に迎え、成蹊大学で行いました。授業の一環として実施できたことで、届けたい情報を多くの学生さんに提供できる良い機会となりました。デートDVは身近な問題です。自分自身や友人が経験するかもしれない、家の中で起きているかもしれない、他人事と思わないことが大切です。デートDVが発生した時に加害者に対して、暴力は認めないと伝えること。暴力は遺伝ではなく学ぶもの、健全な生き方も学ぶものだと語られました。



参加者の声 ▶時折、自分の考えを押し付け、彼女を尊重しないことがあったように思います。この講義を機に、彼女との向き合い方を再考したいです。

思春期の今だから…、

母から娘に伝えたい「いのちと性のはなし」

○日時 2016年7月3日(日) 10:30~12:30

○会場 武蔵野プレイス スペースC

○講師 大田 静香さん(助産師 武蔵野市助産師会会長)

武蔵野市助産師会会長の大田さんによるこのテーマの講座は、一昨年に続き二度目。

アンケートで伺った参加動機では、子どもと話すきっかけづくりに、という回答が多く、性について話すことの難しさが垣間見えましたが、そのためか母娘参加10組を含め、今回も受付開始から2週間弱で定員に達する人気ぶりでした。

年代で言うと小学生高学年から60代までの女性がそろい、10代の性の現状から妊娠・不妊のリスクとその要因まで、医療的な話も交えつつ、元気な大田さんの小気味良いテンポで2時間盛りだくさんの講義が展開されました。小学生には若干難しい内容もありましたが、妊娠の経過を動画で見た彼女たちの感想「おなかに居る時から“そろそろ生まれたいよ”とお母さんの脳に信号を送ってくる赤ちゃんを見て、スゴイと思っ

た」は、自分のからだのことは自分で決める、守る、という大事な自覚につながるものではないでしょうか。

この講座をきっかけに、親子で気軽に少しずつ、未来の自分を守るために性の知識を学んでいけたらと思いました。



参加者の声 ▶正しい知識を身につける大切さが分かった。いままで言いづらかった深い話を娘とすることができそうです。(50代)▶このような性教育の講座を、学校だけでなく、市の中高校生向けの講座として毎年開催してほしい。(40代)▶子どもを産んでいながらも、初めて学んだ部分がいっぱいありました。私でもわからないことがあるのだから、中学生の娘はもっとわからないことがあるのだと感じました。(40代)

◎“コミュニケーション講座”大盛況!

7月30日(土)に講座「もっと伝える・輝くコミュニケーション」が開催されました。全世界に50万人のユーザーをもつMBTI®法をベースに、あなたの「伝える力」を磨くこの講座には定員を大幅に上回るお申し込みをいただきました。内容については次号で詳しく報告予定!

むさしの男女共同参画市民協議会

平成28年度運営委員が決まりました。

5月14日(土)市議会議長、市議会議員他をむかえて行われた総会では、前年度の事業報告や28年度に向け新運営委員の選出がなされ、承認されました。むさしの男女共同参画市民協議会は、引き続き、事業の一部委託を受け、市と共に武蔵野市の男女共同参画施策推進を担っていきます。

平成28年度 運営委員

会長 向井 一江

副会長 大島 登志子 竹内 寿恵子

大久保 力 奥野 依理子 木下 章子 栗原 毅 桑田 知子 砂川 直美

高坂 祐里子 内藤 博子 原 利子 二子石 薫 三上 かおり (50音順)





詳細は市報または、センターHP
でご確認ください！

講座予告

◆わたしたちの男女共同参画と推進センターを考える

- ◇日時：10月1日(土) 13:30~16:00
- ◇会場：武蔵野市立男女共同参画推進センター会議室
- ◇講師：萩原 なつ子さん(立教大学教授)

一人ひとりが幸せに暮らせる男女共同参画社会の実現を目指して武蔵野市立男女共同参画推進センターのあり方について、市民会館への移転を機にあらためて考える講座です。13:30~14:00の移転記念セレモニー、講演会は14:00~16:00となります。

◆イクメン・カジダン・会社人間、男のこれからを考えてみよう ~男ですけど働きながら、子育てをして、楽しく暮らしたいだけなのですが…(仮)

- ◇日時：10月29日(土) 13:30~15:30
- ◇会場：武蔵野市立男女共同参画推進センター会議室
- ◇講師：田中 俊之さん(武蔵大学助教)

「働きつつ、子育てもしたい！」21世紀も16年、ワークライフバランスってどこの国のお話ですか？と秘かに思っているあなたに贈る講座。武蔵大学「学生が選ぶベストティーチャー賞」二年連続受賞、田中俊之さんをお迎えして「男のこれからを考える」。

「女性に対する暴力をなくす運動週間」企画

◆家庭内モラル・ハラスメント

~子どもをどう守るのか~(仮)

- ◇日時：11月12日(土) 午前予定
- ◇会場：武蔵野商工会館 ゼロワンホール
- ◇講師：本田 りえさん(臨床心理士)

昨年多くの反響があったモラルハラスメント講座の第2弾です。支配・束縛関係の気づきにとどまらず、外に見えにくい家庭内モラルハラの場合に最も懸念される子どもへの影響や、子どもを含めた支援の方法についても考えていきます。

◆DV離婚と子ども

~知っておきたい法律のこと(仮)

- ◇日時：11月19日(土) 午前予定
- ◇会場：武蔵野市立男女共同参画推進センター会議室
- ◇講師：露木 肇子さん(弁護士)

法律や制度はいざという時に生活を守る道具です。DV離婚を経ながらも、子どもと今までどおりの生活をしていくために、あるいは子どもに変化を受け入れてもらうために、現在の法制度では何を考慮すればよいのでしょうか。専門の弁護士さんに聞きます。

◆シネマプレイス~日曜の午後の映画会

&ちょこっとフリートーク(仮)

- ◇日時：11月20日(日) 14:30~17:10
- ◇会場：武蔵野プレイス 4階フォーラム
- ◇映画：「フレンチアルプスで起きたこと」

武蔵野プレイスとの共催でスウェーデン映画「フレンチアルプスで起きたこと」上映会。仏カンヌ映画祭“ある視点”審査員受賞、全米でも議論と称賛を呼んだ本作品のテーマは“家族”。アフターシネマは参加された皆さんで“ちょこっと”フリートークは如何ですか。

◆ディズニーアニメで学ぶメディアリテラシー(仮)

- ◇日時：11月26日(土) 午前
- ◇会場：武蔵野市立男女共同参画推進センター会議室
- ◇講師：国広 陽子さん(元東京女子大学教授)

世界中で人気のディズニーのキャラクターたち、しかしその描かれ方は時代、地域により大きく異なります。ジェンダー視点でそのわけを読みとると同時に楽しくメディアに接するにはどうするか、参加者同士のワークも含めて学び考えます。

秘密
厳守

悩みごと相談

-ひとりで悩まずに、まずは相談を-

無料

■女性総合相談…50分まで面談または電話・予約制
第2木曜日(10:00~、11:00~)

第4火曜日(13:00~、14:00~、15:00~)

★場所・問い合わせ

市民活動推進課市民相談係(市役所西棟7階)

☎60-1829 ☎60-1921(予約専用)

■ひとり親家庭・女性相談

月~金曜日(9:00~17:00 祝日・年末年始を除く)

★場所・問い合わせ

子ども家庭支援センター ☎60-1850

●センター利用案内(9月21日まで)●

開館時間：月~土曜日 9:30~17:00

休館日：日曜日・祝日、年末年始

会議室利用時間：《午前》10:00~13:00

《午後》13:30~16:30

●予約制(2か月前より可)、利用料無料、事前登録制●

●詳しくは8月15日の市報をご覧ください●

●発行●

むさしのヒューマン・ネットワークセンター
武蔵野市境 2-10-27 武蔵境市政センター2階

電話/FAX：0422-37-3410

E-mail：mhnc@tokyo.email.ne.jp

ご存知ですか。『まなこ』

武蔵野市の男女共同参画の情報誌です。No97が今月発行されています。今回のテーマは「キャリア教育って？」です。当センターをはじめ市役所、市政センター、図書館、コミセン、駅等市内約450か所に置かれています。是非手に取ってご覧ください。